

移動中の音楽も十分な高音質。ツーリングを純粹に楽しめた

アプリ通信が当たり前になった現代だからこそ、マイクとスピーカーというハードウェアの地力がモノを言う。R35はフラッグシップ譲りの高性能マイクと第2世代HDスピーカー、さらにAIノイズキャンセルを搭載。移動中に音楽を聴いていたが、十分すぎるほどの高音質でツーリングを純粹に楽しめた。高速道路の激しい風切り音の中でも騒音だけが綺麗に消え、音楽も会話も驚くほどクリアに鼓膜へ届く。

SENA
R35

バイクを降りて道の駅で休憩する際、電源を切り忘れてバッテリーを無駄に消費して後半で電池の残量を気にするのはインカムあるあるだ。しかしR35は、2分間の静止で自動スリープし、ヘルメットを持ち上げれば瞬時に起動する。このスマホやPCに近い賢いUIは、ツーリング中の余計な儀式を一つ減らし、ライダーを走ることそのものへ集中させてくれる。

実走インプレ 4 「次世代UX」
ヘルメットを持ち上げるだけで起動。あの煩わしいスイッチ操作は過去のモノ

設定から走行に移行するまでの圧倒的な「イージーさ」に驚く。専用アプリのUIが非常に優秀で、初期設定からペアリングまでが直感的に完結する。アプリがあったから操作も簡単で、一度ヘルメットに装着さえしてしまえば、あとは走るだけで完全にノーストレス。

一度装着してしまえば、あとは走るだけで完全にノーストレス

実走インプレ 1 「操作・設定」

実走インプレ 3 「装着感・タフネス」

薄型設計、長時間、防水性能。長旅を支える地力こそ絶対条件だ

インカムの導入やステップアップにおいて、意外と盲点になるのが物理的な快適性だ。モノによってはスピーカーの厚みで耳が痛くなった経験を持つライダーも多いはずだが、R35は薄型設計のおかげで圧迫感がなく、一日中走り回っても実に快適。さらに最大18時間駆動のロングバッテリーと、不意のゲリラ豪雨にも動じないIPX7完全防水が、旅の安心感を足元から支えてくれる。

「あるある」や、旅先での不意のトラブルを先回りして解決してくれるような先進のユーザインターフェースにも深く感銘を受けた。バイクを降りて道の駅などで休憩する際、電源を切り忘れてバッテリーを無駄に消費し、後半で電池の残量を気にするのはインカムあるあるだが、2分間の静止で自動スリープし、ヘルメットを持ち上げれば瞬時に起動する挙動は、その不安を根底から解消してくれる。不意のゲリラ豪雨にも動じない高水準なIPX7防水性能や、1日中走り続けても余裕のスタミナを誇る最大18時間駆動のロングバッテリーなど、旅の道具として一切の妥協がないタフネスさに触れると、元のインカムには戻れなくなるほどの圧倒的な説得力を感じる。スペック表に並ぶ数字や、一見ただのコストパフォーマンスだけでは計れない本当の快適性。それらを高次元で、かつ現実的なパッケージで具現化したR35は、これからのバイクライフをより深く、ストレスのないものへと引き上げてくれるはずだ。通信が自由になった現代だからこそ、最後はデバイスとしての地力がモノを言う。旅を心から愛し、一瞬の楽しさにも妥協したくないライダーにこそ、今、このR35を選ぶべき絶対の理由がある。

ベーシックを超えろ! 編集部インプレ

なぜ今、R35が選ばれているのか?

スマホアプリ「WAVE」の普及で、ブランドの壁を越えた通信は今や常識だからこそツーリングの質を分けるのは、デバイスが持つ物理的な地力だ。そこで今“コスバ”を現実的に突き詰めたときこの「R35」は極めて賢い答えになるという。様々な商品からの乗り換えを検討するライダーのリアルな視点に立ち、その実力を編集部がストリートで徹底検証する。

文／編集部 問：SENA日本総代理店 インタースリューションマーケティング
https://senablueetooth.jp

注目機能解説

自動電源オン・オフ (自動スリープ)

2分間の静止でスリープし、ヘルメットを持ち上げれば瞬時に復帰。切り忘れによるバッテリー消費を防ぐ賢いUIだ

WAVE&MESH自動切替

通信環境に応じて最適な方式へ自動移行。他社インカムともアプリ経由で繋がり、操作を意識せず通話を継続できる

第2世代HDスピーカー &AIノイズキャンセル

音量と低音を強化したスピーカーとAIによる騒音抑制を搭載。高速走行時でも風切り音に消されずクリアに聞こえる

最大18時間駆動の ロングバッテリー&IPX7防水

1日中走り続けても余裕のスタミナを誇り、充電を気にする必要はない。突然のゲリラ豪雨にも耐える高い防水性も魅力

R35

価格：2万9480円

重量：46.8g 防水性能：IPX7
バッテリー：最大18時間
スピーカー：第2世代HDスピーカー
ノイズ対策：AIノイズキャンセル

SENAが提案する次世代のMESH専用インカム「R35」。3万円を切る「入門機」という位置づけでありながら、その中身は従来の常識を大きく覆す。フラッグシップ譲りのAIノイズキャンセルや第2世代HDスピーカーにより、走行中でも極めて明瞭なサウンドを実現。さらに、わずか46.8gの超軽量・薄型ボディに、最大18時間のロングバッテリーやIPX7完全防水、ヘルメットを持ち上げるだけで起動する自動電源オン・オフなど、実用性に優れた高い地力を備えている。



クラスを超えた圧倒的な「地力」

インカムの進化が著しい昨今、SENAが放った「R35」は発表直後から大きな注目を集めてきた。3万円を切る価格から「エントリーモデル」や「入門機」と位置づけられがちだが、編集部がツーリングロケの現場に連れ出して確信したのは、これが単なる入門機の枠に収まらない、極めて高いポテンシャルを秘めた「実戦派デバイス」であるという事実だ。

今回のテストでは、ストリートから高速道路まで、あらゆるシチュエーションでその実力を試した。まず走り出してすぐに気づくのが、これまでのベーシック機とは一線を画す静粛性とクリアな音質だ。他社製インカムの存在やアプリ通信が一般化した現代のツーリングシーンにおいて、最終的にライダーのストレスを左右するのはハードウェアの基本性能にほかならない。その点、本機がもたらす安心感はフラッグシップ級のそれと云っていい。第2世代HDスピーカーが奏でる豊かな低音と十分な音量、そして先進のAIノイズキャンセルが激しい風切り音を見事に遮断する挙動は、まさに次世代の標準を予感させる。

また、バイク乗り特有の細かな